

★おめでとうございます★1500人目の赤ちゃん★

田口公美子(たぐちくみこ)ちゃん
平成17年11月16日誕生

「色々な人たちから力をもらって生まれてきたということ、色々な人たちに支えられて大きくなっていくということを知ってもらい、美しい感謝の心を持って育ててほしいという願いを込めて名づけました。」と語ってくださった田口栄子様。

3日間続いた陣痛を、実のお姉さまとご主人様と、一緒に乗り切ったので、「3人で産んだ」という感じがしているそうです。「産まれた瞬間、今までの色々な思いが報われたような気がして、感動の一言でした。」



喜びいっぱいの田口ご夫妻と公美子ちゃん



ずっと付き添われていたご主人様は、一緒にいきんで酸欠状態になってしまったとか。また、LDRIに入ってきた院長を見ただけで、感動で泣いてしまったそうです。「産まれた後、院長がおめでとうと握手してくれたことは一生忘れません。」とご主人様。

「不妊で悩んでいる方へ、今は暗いトンネルの中を手探りで歩いているような状態かもしれませんが、必ず光が見えると信じてあきらめないでがんばってください。」とメッセージをいただきました。ご結婚15年目に田口様ご夫妻のもとにやってきた天使「公美子ちゃん」。どうぞ健やかにご成長されますように。田口様、取材にご協力いただきましてありがとうございます。本当におめでとうございます。

【新入職員紹介】 茂木 由美子 保育士

11月入職
「皆様こんにちは！託児室では、お母様が安心してお子様を預けられるような、そしてお子様からは、またここで遊びたいと思えるような空間をつくっていきたくと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。」



施設・職員案内 喫茶・ベビーショップ 「ゆうゆ」

私達「ゆうゆ」では、マタニティグッズ・ベビー用品、また入院中に必要な雑貨類の販売と軽食喫茶をお取り扱いしております。(店内に並んでいませんが、洗濯用洗剤、ガーゼマスクや歯ブラシセット、ボックスティッシュも置いてありますのでお声かけください。)
また、マタニティピクスやベビーピクスの手続きやレンタルベビーシートの窓口業務も行っております。店内の品物は、動くことのできない患者様の病室への配達も行っておりますのでお気軽にご利用ください。
ゆうゆは、様々な人の想いがあふれている場所です。赤ちゃんとの対面に歓喜するパパ患者様の回復を願うご家族の方、数日間マ

と離ればなれだった新米お兄ちゃん、お姉ちゃん…。私達は誰かの想いに支えられながら生きているんだという事を、数々のエピソードを通して日々学ばせていただいています。皆様に「ほっこり」とした空間を満喫していただきたい…そんな想いを込めて、ゆうゆスタッフ一同、皆様のご来店をお待ちしております。



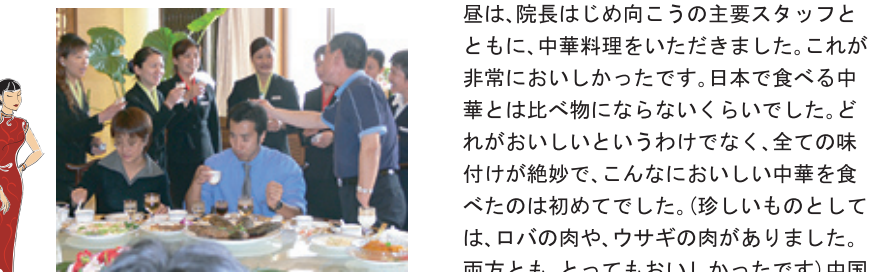
写真左から
笹木紀子、宮野恭子、
田中美恵

【副院長の中国体験記～河北医科大学教授就任に向けて】

平成17年10月6日から1週間、医学生物電子顕微鏡学会に参加するため中国へ行ってきました。北京近郊河北省の県庁所在地にあたる石家荘の河北医科大学にて国際シンポジウムが開催されました。また今回は、シンポジウムに参加し発表することともう一つ大きな目的がありました。河北医科大学で講演を依頼されており、これを機に当院と河北医科大学で医療技術連携を行っていく約束をすることです。人材交流や、共同研究などです。



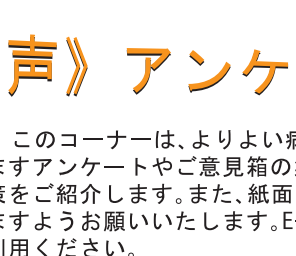
シンポジウムの発表のあと、早速河北医科大学第一病院に講演に行ってきました。まずはお出迎えしていただき、病院の前で記念撮影。そのあと病院長はじめ向こうのスタッフとこちらとで自己紹介をし、医療連携の約束書に調印式ながら署名し、お互いの連携を誓いました。そして名誉教授号を授与されました。ちょっと緊張でした。
院内を見学させていただいた後、産婦人科の先生方、看護師さんを対象に、講演を行いました。専門分野である腹腔鏡の話です。河北医科大学でも腹腔鏡をやっており、私の話の的確に反応されていたので、参考になる話ができただけではないかと思えます。和やかな雰囲気です。質問に答えたり、日本と中国の違いについてディスカッションしました。
病院の印象は、ちょっと前の古い日本の公立病院といった感じがします。綺麗ではありませんが、決して遅れている訳ではなさそうです。ここ数年で医療レベルも飛躍的に向上しているようです。中国の町並みを見てもそうですが、やはり、急激に社会全体が勢いを増している感があります。恐るべし中国です。我々の世界は、米国の中心に考えていましたが、これから変わってくるかもしれません。そうしたときには、「アジアの日本」をいまよりずっと意識しなければならなくなるでしょう。



昼は、院長はじめ向こうの主要スタッフとともに、中華料理をいただきました。これが非常においしかったです。日本で食べる中華とは比べ物にならないくらいでした。どれがおいしいというわけではなく、全ての味付けが絶妙で、こんなにおいしい中華を食べたのは初めてでした。(珍しいものとしては、ロバの肉や、ウサギの肉がありました。両方とも、とってもおいしかったです)中国は食事中に何度も乾杯をします。しかも、1対1!そのたび杯を一気に空ければなりません。スタッフ全員がそれぞれに、何度も乾杯しようと迫ってきます。当然断ることはできません。今回ほどお酒が強くてよかったと思ったことはありませんでした。しかし、10人以上の中国人に囲まれて、こっちは日本人2人で、大変な食事会でした。年に1回くらいは、中国に来てくださいたいといわれましたが、できることなら3年に1回位にしてもらいたいです。いい経験でありましたが、疲れました。
ともあれ今回の旅の最大の目的は、無事果たせました。
★こちらでもお楽しみいただけます!
副院長ブログ「雲のように」
<http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/>

【新入職員紹介】 清水 敏子 エステティシャン

10月入職
大手化粧品メーカーに8年勤務し、結婚退職。2児の母となりました。人と接したり、お肌にあふれる美容の仕事が好きで、エステの道へ進み、現在は来年5月に行われるエステの国際試験に向けて勉強中です。



エステティシャンとして、患者様への優しさや気遣いを忘れずに、精一杯対応させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします



セミオープンニュース 連携医紹介⑥

高崎市上佐野町「塙産婦人科医院 院長 塙 博先生」

第6弾となりました連携医紹介。今回は、高崎市上佐野町の塙先生です。今回は塙先生のご趣味についてご寄稿いただきました。どうぞお楽しみください。

肩の凝らない随筆とのことで、私の趣味のベースについてお話ししたいと思います。
ベースはクラシックのオーケストラでは、コントラバスと云い同じもので区別はありません。音楽には欠かせないものです。
私とベースとの出会いは、医学部専門課程1年の時でした。ひょんなことでベースを担当することになり、学生時代は主に運動部主催のダンスパーティのバンドとして出演し、時には精神病院の慰問に行きました。一番記憶に残ったのは、東日本医科学学生総合体育大会前夜祭が新潟で行われた時、群大バンドとして出演し、デキシードジャズを演奏し喝采を受けた時でした。
その後卒業、インターン、国家試験、群大産婦人科入局勤務医、開業して高崎市医師会に入るまで10年余りベースを持ちませんでした。開業して間もなく医師会バンドでベースを担当してもらいたいと依頼されて以来、昭和49年高崎医療センター落成式に出演後、毎年11月に開催される群馬県医師会音楽祭に第1回より28回まで休まずに参加しました。
一番の思い出は群馬アマチュアジャズオーケストラに合格し、NHK群馬で収録、FM群馬で放送されたことです。

その後高崎医師会ジャズバンドは分裂、小編成となりましたが、一昨年の第28回群馬県医師会音楽祭を最後に解散しました。
ウッドベースは大きいので、アンプと共に持ち運ぶのは大変で、晩年はエレキベースにしましたが、やはりウッドベースのアコースティックな重低音の方が私は好きです。私の現在のベースは、北村英二オールスターズのベシスト池沢氏より譲り受けたもので、今でも大切に時々音を出しています。



高崎市上佐野町732-3
TEL:027-326-8393

《声》アンケートより

佐藤病院業務改善委員会
このコーナーは、よりよい病院を目指して、患者様にご協力いただいておりますアンケートやご意見箱の集計結果をもとに、特に多かったご意見とその対策をご紹介します。また、紙面をご覧の皆様からもご意見をお聞かせいただけますようお願いいたします。E-mailまたは会計窓口横のカエルのご意見箱をご利用ください。

1. 入院中のパソコン内臓TVが使づらい/使い方がわかりにくい。
⇒ベッドサイドのTVにつきまして、たくさんのご意見をいただきありがとうございます。PC内蔵型ですので、通常のTVと使い勝手が違い、ご迷惑をおかけしております。使い方につきましては、従来の説明書を、よりわかりやすく改定いたしました。また、トラブルの緊急回避方も掲載いたしました。想定されるトラブルに関しましては、看護師はじめ、スタッフも対応できますので、お気軽にお声掛けください。
2. 院内に何でも聞ける案内所があると助かります。
⇒受付周辺が混雑する午前中を中心に、師長が総合案内として、ロビーの専用カウンターに待機するようにいたしました。皆様の不安解消のお手伝いができれば…と考えております。お気軽にお声掛けください。

佐藤病院理念

私たちは出産を中心に、女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を、地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者様一人ひとりに愛される病院を目指します。

基本方針

1. 地域に密着した女性専門病院として、女性の生涯に貢献する
2. 常に学び続け、医療技術の向上を図る
3. 医療のプロとして誇りを持って行動し患者様の信頼に応える
4. 互いの信頼関係を大切にし、信頼の輪を広げる
5. 経営環境を自覚し、適応する効率と改善に努力する

患者さまの権利章典

当院は患者さまの医療に対する主体的な参加を支援するために、以下の「患者さまの権利章典」を尊重し診療を行います

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を得る権利があります
2. 患者さまには、医療従事者が提供する治療法に関して、自らの意思で決定する権利(選択する権利と拒否する権利)があります
3. 患者さまには、診療録等の開示を求めると同時に、また、診療過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります
4. 患者さまには、医療従事者に対して、患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただく責務があります
5. 患者さまには、すべて患者様が適切な医療を受けられるために、他の患者様の治療に支障を与えないように配慮していただく責務があります